

# 目で見る都留市の健康 X

## 老人編 その3

### 寝たきり老人の状況

都留市では介護慰労金の支給対象者となる在宅寝たきり老人九十九人、特別養護老人ホーム入所者二十四人、老人保健施設入所者四十七人、長期入院者五十八人の総数二一九人の寝たきり老人が把握されています。

これは六十五歳以上の人口四、

七二一人に対して四・六%の出現率となっています。これを前期高齢者（六十五歳以上）と後期高齢者（七十五歳以上）と比較してみると、後期の方が二倍に達し、年齢が高くなるほど寝たきり老人も増えていきます。「表1」  
この人達の移動動作、入浴、着替え、整髪などの日常生活動作の状況は、過半数が介護を要し、在

### 寝たきり老人数

表 1 (平成4年4月現在、高齢者保健福祉実態調査)

年齢	区分	人口	寝たきり老人数	割合 %
65歳以上		4721	219	4.6
65～74歳		2893	61	2.1
75歳以上		1828	158	8.6

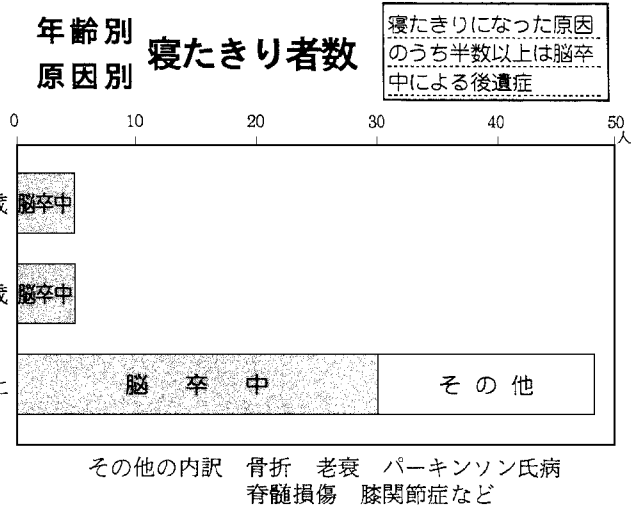
### 介護上の問題点・悩みトップ5

表 2 (高齢者保健福祉実態調査)

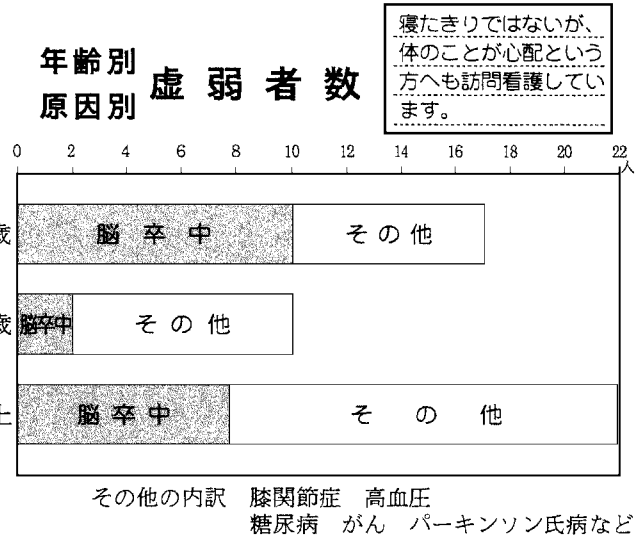
	寝たきり老人	虚弱老人
第1位	時間・付き合いができない	時間・付き合いができない
第2位	風呂の回数が不足	介護に自信がない
第3位	往診可能医師なし	往診可能医師なし
第4位	介護に自信がない	歯の治療が不可能
第5位	歯の治療が不可能	風呂の回数が不足

宅ケア・サービスの必要性が高いことが認められます。在宅での介護者調査の結果は次のとおりです。  
介護上の問題点・悩みトップ5より、寝たきり老人を抱えている介護者では、介護のため自分の時間がとれない、付き合いができないが最も多く、介護者に負担となることについての問題点が多いようです。また、往診可能な医師がいないというように在宅看護を支援していく基盤を整備しなければならぬ現状があります。虚弱老人を抱えている介護者でも、問題点や悩みの順位こそ異なりますが、抱えている問題は同じということがわかります。「表2」

### 年齢別原因別寝たきり者数



### 年齢別原因別虚弱者数



「手は出しすぎず」が  
介護の基本  
在宅看護を支えます

寝たきりの大部分は日頃からの健康管理に対する心がけや病気やけがで寝こんだときでも適切な介護やリハビリによって十分予防できます。  
市では、保健婦または訪問看護婦が訪問し、リハビリ、入浴介助等、身のまわりのお世話、医療器具の管理、病状の観察、保健福祉サービスの紹介、介護者の健康管理など在宅で介護している家族を支援しています。

家庭でも社会でも  
よろこび見つけ  
みんなで防ごう  
閉じこもり

(寝たきりゼロ10カ条より)

寝たきりを克服するため、ならないために、豊かな生きがいを求め、まず行動開始です。

